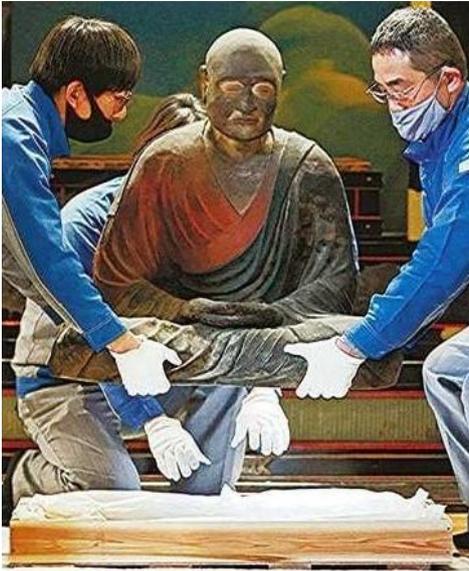


年 組 名前

2021年3月8日付夕刊



搬出される国宝の鑑真和上坐像
＝8日午前、奈良市の唐招提寺で

鑑真和上坐像 京都へ

唐招提寺から12年ぶり搬出

京都国立博物館（京都市）で二十七日から始まる特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」に向け、奈良市の唐招提寺で八日、国宝の鑑真和上坐像（八世紀）の搬出作業が行われた。像が寺を出るのは二〇〇九年以来という。

午前九時ごろ、寺の文化財の収蔵庫「新宝蔵」内に置かれた像に向かって僧侶が読経し、寺を離れる間

安全を願った。像を収めた厨子から、専門スタッフが慎重に運び出し、像をライトで照らし点検した。その後、像の顔部分などを美術品の梱包専用の柔らかい紙で覆った。

鑑真（六八八～七六二年）は中国・唐時代の高僧。渡航失敗や失明を乗り越え来日し、唐招提寺を開くなど日本仏教の質の向上に貢献した。寺の鑑真像は、本人が死去する直前に作られた可能性があると考えられる。

問1：唐の制度や文化を取り入れようと、中国に送った外交使節を何といいますか。 ()

問2：中国から鑑真を招いたのはだれですか。次から選びましょう。

ア 小野妹子 イ 聖武天皇 ウ 行基 エ 藤原道長

問3：なぜ鑑真を中国から招いたのでしょう。その理由を調べてみましょう。

【活用にあたって】

聖徳太子が政治を行った頃から聖武天皇が国を治めた頃までの学習で身に付ける事項は、次の三つです。

①大陸文化の摂取、②大化の改新、③大仏造営

①は、聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として隋に派遣し、政治の仕組みなどの大陸文化を摂取しようとしたことです。②は、中大兄皇子や中臣鎌足により政治の改革が行われたこと、天皇中心の新しい国づくりをめざしたこと。③は聖武天皇の発案の下、国家的な大事業として東大寺の大仏がつくられ、天皇中心の政治が広く全国に及んだこと、鑑真が来日し仏教の発展に大きな働きをしたことです。

これらのことを手掛かりにして、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解します。

解答例

問1：遣唐使

問2：イ

問3：天皇中心の政治の仕組みが整ってきたが、人々は伝染病に苦しんだり、貴族の反乱が起きたりした。聖武天皇は仏教の力でなんとか国を安定させようと考えた。全国に国分寺、都には国分寺の中心となる東大寺を建て、大仏をつくった。仏教の教えを正しく教え広めてくれる優れた僧を中国に求めた。